



# “結”のくに 愛知 ～ この地が新たな郷土となるために ～

グループ名： あいち・ザ・ステータス  
 メンバー： 魚住 正恵、田中 健太、樋口 隆、山口 清之  
 チューター： 薄井 智貴、大川 秀樹、早川 敦子

## 現状の把握

奥三河エリアの現状（2015年時点）

【人口】西三川地区に比べ顕著な減少傾向  
 2035年時点における人口減少率(15年比)

人口減少率	新城	設楽	東栄
	-19.1%	-38.5%	-34.0%

【合計特殊出生率】2035年時点における出生率  
**新城市1.41・設楽町1.76**

【地理歴史(背景)】  
 ・奥三河を水源とする**豊川流域**の存在  
 ・流域沿いに育んできた**伝統文化**

農業	耕作放棄地 (ha, 耕作放棄率)	売上高 (円・年・戸)	面積 (年・戸)
新城市	597ha(17.2%)	約94万	1.4ha
設楽町	128ha(13.7%)	約100万	1.5ha
東栄町	—	約250万	4.5ha

増加する耕作放棄地と1戸あたり売上高(エリア別)

### 現地の声

毎年10世帯程度のゆるやかな人の流入を希望する！  
 チーム員ヒヤリングより(2015.8)



## 2035年に向けての提言の概要

ターゲット：奥三河(中山間エリア)

### 【めざす方向性】

奥三河の魅力に魅せられた人々が新たに根を下ろし、地元住民との交流を経て、この地が新たな郷土となってゆく**“結の精神を次世代へ”**



【提案】訪れたい／働きたい／暮らしたいの3つのニーズを引き出す施策（メインターゲット層：20～40代、1・Uターン）

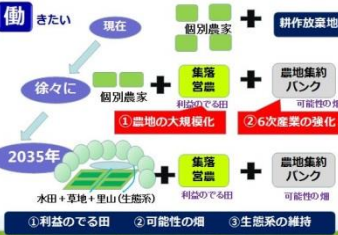
- ・訪れる：もっくる新城・古民家CAFÉの継続運営
- ・働く：「アグRe:スタート」「廃校リノベーション」
- ・暮らす：空き家バンクなどを活用した移住支援、他



## 提案の内容

「働く」に注視した2施策の提案

### 1 持続可能な農業システム【アグRe:スタート】



### 2 “思い”をカタチに【廃校リノベーション】

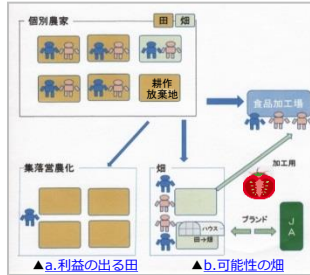


働きたい思いをカタチに！  
 その人たちをサポートし続けるために

- 使用されていない箱の活用 (ex.新城市旧鳳来寺高校)
- 要素
  - ・生活サポート（子育て・介護・移住）
  - ・新たなビジネスモデル育成 (さなぎクリエイターの育成・卒業システム)

## 提案実現のための具体的な取り組み(アクションプラン)と実現可能性

### 1 アグRe:スタートの仕組み



主な役割	1
愛知県	・販路支援 ・農地集積バンクの運営・連携 ・農業大学の運営
新城市	耕作放棄地の活用
設楽町	食品加工業のブランド支援
地元住民	集落営農への参加・土地貸出

### 2 廃校リノベーションのコンテンツ



主な役割	2
愛知県	雇用相談窓口(田舎への移住推薦)
新城市	・“箱”の提供(廃校・空き家) ・移住希望者と空き家マッチング
設楽町	・観光案内 ・観光案内プース運営
民間/NPO	食品加工業・保育支援等
地元住民	ショップの運営他

## 波及効果

地元の人々と、奥三河に新たに根を下ろす人々とが互いに助け合って、初めて実現されるもの

移住者(新) × 地元住民(旧) 新旧融合 温故知新

結の精神を次世代へ繋ぐために

### 1 環境に配慮した農業の可能性

- ・農業に頼らない農業を
- ・水田立地+草地+里山で自然の恵みを楽しむ

### 2 観光のゴールデンルートに



### 3 合計特殊出生率の微増

### 4 伝統文化の継承

### 5 他中山間地域でも水平展開が可能